

# プラチナ展望

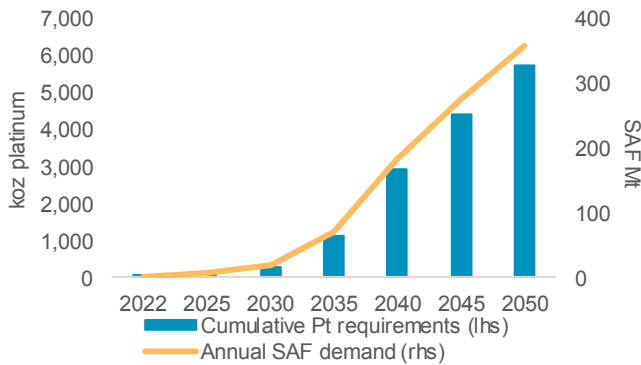
## 上海プラチナウィーク 2023 から見えた、 将来のプラチナ需要に影響を与える興味深い事柄

WPIC 共催、第3回目となる上海プラチナウィーク (SPW) は6月の最終週に開催された。本稿では同イベントの詳細を報告するとともに、発表されたプレゼンテーションの中でも、プラチナ需要に今後影響を及ぼす可能性のある3つについて述べたいと思う。

**数字で見た SPW:** 二日半にわたったメインイベントでは、合計 39 のプレゼンテーションとパネルディスカッションが行われ、環境に優しい輸送交通、PGM 触媒、世界経済などテーマは多岐に及んだ。今回のイベントの全体像、及び「プラチナ投資における中国の重要性」と題した WPIC のプレゼンテーションは [こちら](#) から閲覧できる。イベントの参加者は 400 以上の団体を代表する 650 名、オンラインからは 9 万人以上が参加した。来年の SPW は 7 月 8 日から 12 日の開催が決定している。今回は会議だけでなく、プラチナのインゴットやコイン、宝飾品、さらには燃料電池やプラチナを含む医薬品など数多くのプラチナ商品も展示された。話題を呼んだトピックス全てを紹介することはできないが、先に述べたように将来のプラチナ需要に影響を及ぼすと考えられる3点、持続可能な供給源から製造されるジェット燃料 (SAF)、中国の自動車生産の見通し、燃料電池のプラチナ触媒について紹介したいと思う。

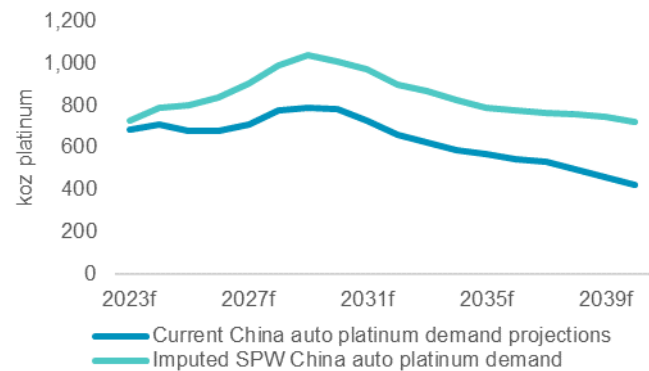
SAF の生産は現在はまだ少ないが、国際航空運送協会 (IATA) は、航空業界がネットゼロを実現するには 2050 年までに年間 3 億 6000 万トンに達しなければならないとしている。中国の大連化学物理研究所が発表したデータによると、これには 186.6 トンものプラチナ触媒が必要で、SAF 生産の拡大を支えるプラチナ需要は 2030 年代に 5.3 トンから 11.1 トンとなる (2 ページの図 2)。

### SAF 生産の拡大は 186.6 トンのプラチナ需要



資料: WPIC リサーチ, IATA, 大連化学物理研究所

### 中国の自動車のプラチナ需要は予想を大きく超える可能性



資料: WPIC リサーチ, 同濟大学

自動車産業 に関しては、上海の同濟大学の発表によると、中国の自動車生産は今日の約 3000 万台から、2030 年までには 4500 万台に増え、2040 年には 4500 万台から 6000 万台になる。この実現には自動車メーカーも増えなければならないが、この数字は、3500 万台がピークとする我々の推測を大きく超えている。高い方の数字を使って中国の自動車のプラチナ需要の予想を調整すると、我々のベースケース予測よりも、6.2 トン~9.3 トン多い計算になる。

燃料電池の触媒に関して、国際水素エネルギー燃料電池協会 (IHFGA) のプレゼンテーションに使われた詳細な予測によると、2030 年までに普通乗用車の燃料電池に使われるプラチナ触媒は 0.125 g/kW で、これは我々の予測、0.11g/kW よりも多い。しかし大型車の燃料電池は技術改良がほぼ終わるとし、使われるプラチナ触媒の予測は 0.25g/kW で、これは我々の 0.41g/kW よりもかなり少ない。IHFGA の両方の予測値を合わせると、燃料電池自動車のプラチナ需要は 2030 年には我々のベースケース予測よりも約 5.9 トン少ないことになる。

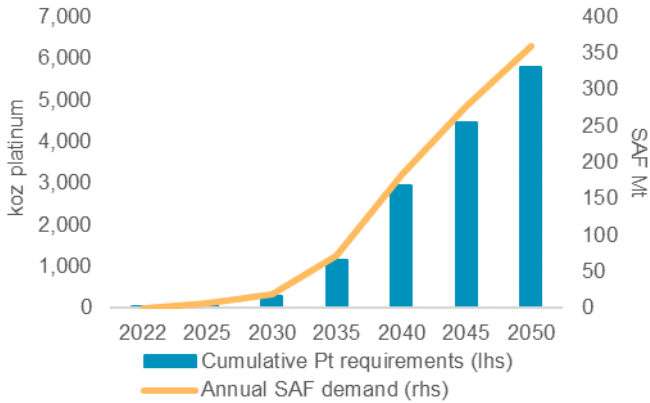
### 数字で見る SPW :

- プレゼンテーションの数 39
- 代表参加者 650 名
- 団体数 400
- オンライン参加者 9 万人

**投資資産としてのプラチナの魅力:**

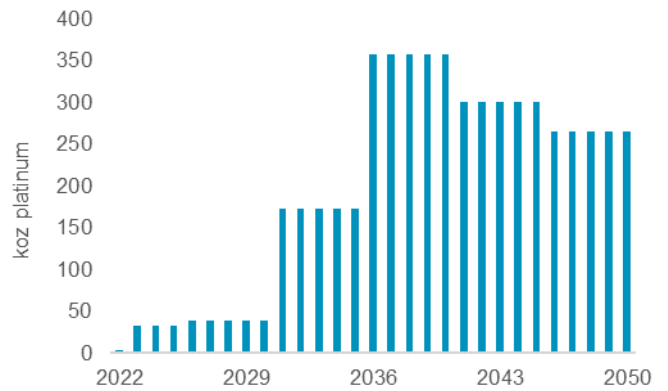
- WPIC のリサーチによるとプラチナ市場は2023年から供給不足が続く
- PEM 水電解装置や燃料電池などに使われるプラチナを通じて水素経済の発展に投資できる
- 南アフリカの電力問題、対ロシア制裁などでプラチナ供給には問題多し
- 自動車のプラチナ需要はガソリン車の代替需要を主に今後も成長
- プラチナ価格は金とパラジウムに比べて大幅に低い

**図 1: SAF 生産は 2050 年までに 3 億 6000 万トン に達し、それに必要なプラチナ触媒は約 186.6 トン**



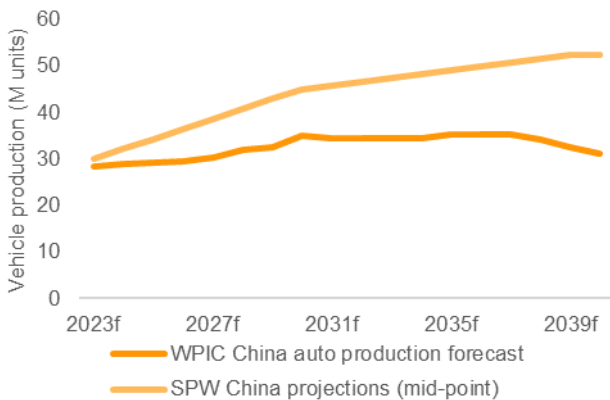
資料: WPIC リサーチ, IATA, 大連化学物理研究所

**図 2: SAF 生産の拡大で、プラチナの年間需要は 2030 年代後半に 11.1 トンでピークに**



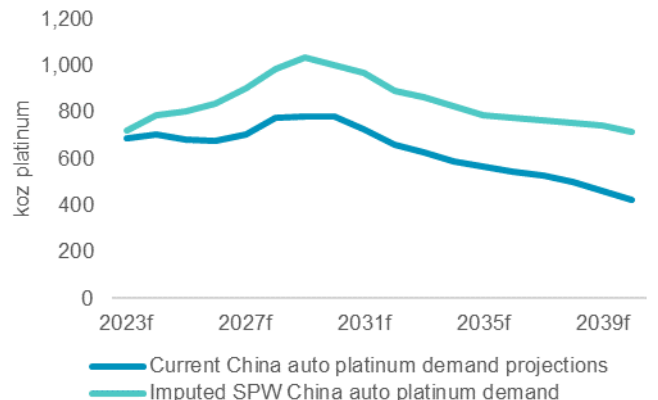
資料: WPIC リサーチ, IATA, 大連化学物理研究所

**図 3: 同済大学は、中国の自動車生産は 2030 年までに 4500 万台に、2040 年までに 4500 万台~6000 万台になるとする**



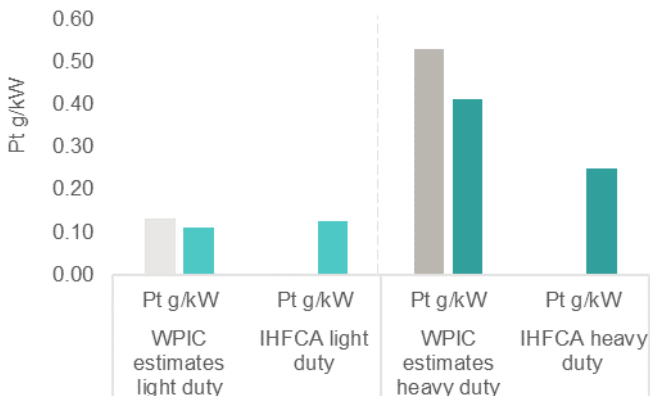
資料: WPIC リサーチ, 同済大学

**図 4: 自動車生産が同済大学の予測通りになるとすると、中国の自動車のプラチナ需要は、我々のベースケースを年間 6.2 トン~9.3 トン上回る**



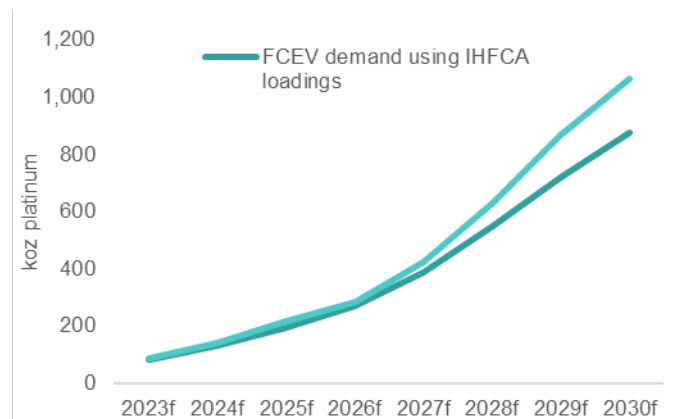
資料: WPIC リサーチ, 同済大学

**図 5: IHFCA のプレゼンテーションによると、2030 年の燃料電池に使われるプラチナ触媒は、普通乗用車では我々の予測より多く、大型車では我々の予測よりも少ない**



資料: WPIC リサーチ, 国際水素エネルギー燃料電池協会 (IHFCA)

**図 6: IHFCA の数値を使うと、2030 年の燃料電池のプラチナ需要は我々のベースケース予測よりも 5.9 トン少ない**



資料: WPIC リサーチ

#### 免責条項:

当出版物は一般的なもので、唯一の目的は知識を提供することである。当出版物の発行者、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルは、世界の主要なプラチナ生産会社によってプラチナ投資需要発展のために設立されたものである。その使命は、それによって行動を起こすことができるような見識と投資家向けの商品開発を通じて現物プラチナに対する投資需要を喚起すること、プラチナ投資家の判断材料となりうる信頼性の高い情報を提供すること、そして金融機関と市場参加者らと協力して投資家が必要とする商品や情報ルートを提供することである。

当出版物は有価証券の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきものでもない。当出版物によって、出版者はそれが明示されているか示唆されているかにかかわらず、有価証券あるいは商品取引の注文を発注、手配、助言、仲介、奨励する意図はない。当出版物は税務、法務、投資に関する助言を提案する意図はなく、当出版物のいかなる部分も投資商品及び有価証券の購入及び売却、投資戦略あるいは取引を推薦するものとみなされるべきでない。発行者はブローカー・ディーラーでも、また2000年金融サービス市場法、Senior Managers and Certifications Regime 及び金融行動監視機構を含むアメリカ合衆国及びイギリス連邦の法律に登録された投資アドバイザーでもなく、及びそのようなものと称していることもない。

当出版物は特定の投資家を対象とした、あるいは特定の投資家のための専有的な投資アドバイスではなく、またそのようなものとみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。いかなる投資、投資戦略、あるいは関連した取引もそれが適切であるかどうかの判断は個人の投資目的、経済的環境、及びリスク許容度に基づいて個々の責任でなされるべきである。具体的なビジネス、法務、税務上の状況に関してはビジネス、法務、税務及び会計アドバイザーに助言を求めるべきである。

当出版物は信頼できる情報に基づいているが、出版者が情報の正確性及び完全性を保証するものではない。当出版物は業界の継続的な成長予測に関する供述を含む、将来の予測に言及している。出版者は当出版物に含まれる、過去の情報以外の全ての予測は、実際の結果に影響を与えうるリスクと不確定要素を伴うことを認識しているが、出版者は、当出版物の情報に起因して生じるいかなる損失あるいは損害に関して、一切の責任を負わないものとする。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルのロゴ、商標、及びトレードマークは全てワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルに帰属する。当出版物に掲載されているその他の商標はそれぞれの商標登録者に帰属する。発行者は明記されていない限り商標登録者とは一切提携、連結、関連しておらず、また明記されていない限り商標登録者から支援や承認を受けていることはなく、また商標登録者によって設立されたものではない発行者によって非当事者商標に対するいかなる権利の請求も行われない。

#### WPIC のリサーチと第2次金融商品市場指令 (MiFID II)

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル(以下 WPIC) は第2次金融商品市場指令に対応するために出版物と提供するサービスに関して内部及び外部による再調査を行った。その結果として、我々のリサーチサービスの利用者とそのコンプライアンス部及び法務部に対して以下の報告を行う

WPIC のリサーチは明確に Minor Non-Monetary Benefit Category に分類され、全ての資産運用マネジャーに、引き続き無料で提供することができる。また WPIC リサーチは全ての投資組織で共有することができる。

1. WPIC はいかなる金融商品取引も行わない。WPIC はマーケットメイク取引、セールストレード、トレーディング、有価証券に関わるディーリングを一切行わない。(勧誘することもない。)
2. WPIC 出版物の内容は様々な手段を通じてあらゆる個人・団体に広く配布される。したがって第2次金融商品市場指令(欧州証券市場監督機構・金融行動監視機構・金融市場庁)において、Minor Non-Monetary Benefit Category に分類される。WPIC のリサーチは WPIC のウェブサイトより無料で取得することができる。WPIC のリサーチを掲載する環境へのアクセスにはいかなる承認取得も必要ない。
3. WPIC は、我々のリサーチサービスの利用者からいかなる金銭的報酬も受けることはなく、要求することもない。WPIC は機関投資家に対して、我々の無償のコンテンツを使うことに対していかなる金銭的報酬をも要求しないことを明確にしている。

さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイトを参照。

website: <http://www.platinuminvestment.com/investment-research/mifid-ii>

当和訳は英語原文を翻訳したもので、和訳はあくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。